

## 特別講演 1

# 「プライマリ・ケアで重要なうつ病診断と治療

## 自立神経症状からのアプローチ」

藤田保健衛生大学医学部 精神神経科 教授

内藤 宏 先生

末梢神経障害は糖尿病に必発の合併症で、下肢に不快なしびれ感や疼痛を訴える患者は 20%前後に及ぶ。その病理学的本態である軸索変性の程度はアキレスうつ病患者の多くは、その初期症状が自律神経症状で始まることから、かかりつけ医を最初に受診していることが多い。この時期は、精神症状への関心も乏しいことからうつ病は見逃され、かかりつけ医は医学的に説明困難な症状（Medically Unexplained Symptoms; MUS）に困惑させられることになる。うつ病は元来自然に回復する疾患であり、うつ病軽症例へのかかりつけ医の適切な対応への期待が高まっている。本講演では、MUS を切り口に、プライマリ・ケアで有用な精神医学的対応のコツを、診療ツールの「MAPSO」とコミュニケーションスキルの紹介を通じ提供したい。これらの技術は、医師患者関係の強化をもたらし、日常診療における一般的な生活指導にも貢献できると思われる。